

第41回人権保育教育連続講座【前期プログラム】

	実施日 会場	テーマ	講師
第1回	6/5 (水) 4階 研修室	身近な自然に 子どもたちをいざなおう ～街を歩くとこんな自然に巡りあえる～	森山康浩(子ども情報研究センター 代表理事) 子どもに野外でいろいろな自然体験をさせたい! でも、近くに「自然」がない…交通事情が不安…。そんな時は身近な自然に目を向けましょう。自然の見方・触れあい方の話と、街中の公園や道端の自然に触れるフィールドワークを行います。 (動きやすい服装で)
第2回	6/12 (水) 5階 ホール	あなたの「困った!」わたしの「困った!」 ～語りあおう! 聴きあおう!～	合田由紀子(シュッポップ保育園施設長) 橋本かおり(はらっぱ舎AIAI主任) 子どもと保育者、保護者と保育者、保育者と保育者。いろいろな関係の「困った!」を出し合いしましょう。みんな同じことを悩んでいるかも! 現場の生の声を聴きあって、自分の中の思いや大切にしたいことをともに感じませんか。(動きやすい服装で)
第3回	6/20 (木) 5階 ホール	エピソードを介した気づきと学び	森口弘美(天理大学人間学部人間関係学科) 子どものケアにおいて大切な「人と人の関係性」は、抽象的な言葉よりも具体的なエピソードを介することで、人と共有することができます。エピソードを共有することの意味と、エピソードを言葉にするためのヒントについてお伝えします。
第4回	6/26 (水) 5階 ホール	親子支援に役立つ アタッチメントの理解 ～安心感の輪子育てプログラムから～	久保樹里(大阪歯科大学医療保健学部) アタッチメント(愛着)は保育者ならば必ず学ぶものですね。このアタッチメントを実際の保育現場や保護者とのやりとりでどう活かすかについて学んでみましょう。虐待予防についてもお話しします。
第5回	7/3 (水) 5階 ホール	小さい子どもの意見表明	奥村仁美 (子ども情報研究センター 子ども家庭相談室) 子どもの意見表明はことばによるものだけ? 声にならない声に耳を傾け、視線を向けていると、きっとたくさんのことが伝わってきます。それはきっとゆたかな保育につながるものと思います。

《会場および子ども情報研究センター事務所》

【時間】14時～16時30分 (受付: 13時30分～)

【場所】HRCビル(大阪市港区波除4-1-37)

【アクセス】

- ・大阪メトロ中央線「弁天町」駅4番出口より700m(徒歩10分)
- ・JR大阪環状線「弁天町」駅北口より600m(徒歩8分)
- ・JR大阪環状線「弁天町」駅北出口より徒歩約10分

〈問合せ〉

公益社団法人子ども情報研究センター
〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37HRCビル5階
TEL: 06-4708-7087 / FAX: 06-4394-8501
E-mail: info@kojoken.jp

